



令和3年度

# 事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会



## 1. 基本方針

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の関係により、市域や地域、町内会の活動が中止や延期、活動内容の変更に見舞われ、多くの生活課題や地域課題が浮き彫りとなり、新型コロナウイルス感染症のワクチンや特効薬など、ウイルスを効率的に閉じ込めるツールを私たち人間社会が獲得するまで、しばらく With コロナの時代、新しい生活様式の生活が続き、本来の活動ができない状況が続くことが予測されます。

このような状況下の令和3年度は、地域の生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会づくり」を推進することが必要であり、地域住民のやりたいという思いに寄り添い、その思いが実現できるように既存の事業を活用して直接的な支援を行うだけでなく、関係する事業等に関する情報提供を行うことや、思いの実現を手助けできる人を紹介することなどの側面支援も必要であります。地域の住民同士が出会い学び合う機会の開催が難しければ、それに代わるべき方法を関係者と共に考え、その顔の見える関係性を少しでも広げることが、新たな活動を生むキッカケになると考えます。

そして、社協活動の原点である地域の生活課題に気づくあらゆる機会を活用し、地域住民ができることから活動を再開する気運を高める支援を草津市社協は進めてまいります。

また、市民交流総合センターに令和3年5月に移転することから、必要な経費を捻出するとともに、移転後の新事務所での入居団体との協働事業等も念頭に置いた事業展開を進め、継続的に経済的な困窮状態に陥っている方への生活福祉資金等の貸付や高齢化の進展に伴う地域福祉権利擁護事業の利用者の増加などに対応した個別援助活動も充実に努めます。

これらの活動にかかる財源については、一般会費・賛助会費や寄付金、共同募金の助成金ですが年々減少しており、特にコロナ禍による経済状況の悪化から、増額を図ることは難しい状況であります。既存事業や助成事業の経費見直し、財源確保に向け企業、事業者などの協力が得られるよう取り組みを進めてまいります。

さらには、市社協・学区社協が今日まで取り組んできた社協活動の総合力の向上に努めるため、まちづくり協議会や各種団体・福祉機関、行政などとの連携を強化し、「こころ温かく支えあい 住みつけたい 福祉のまち・くさつ」の実現に向け積極的な事業推進に努めます。

## 2. 重点事業

### ① 地域福祉活動推進支援

- ・地域福祉活動推進の基本指針となる第4次市社協地域福祉活動計画（R4年からR8年）の策定を進めます。
- ・小学校区単位の住民福祉活動計画の策定を支援します。
- ・医療福祉を考える会議など地域共生社会づくりの協議の場を大切に、「我が事」と思える市民を一人でも増やし、住民主体の地域づくりを支援します。

### ② 事務所移転に伴うボランティアセンターの機能強化

- ・第4回草津市福祉教養大学を開校し、地域福祉の担い手の育成に努めます。
- ・個人ボランティアの育成やボランティアグループの立ち上げを支援します。
- ・多彩なボランティア活動への参画を呼び掛け、「ふくちゃんマスク」プロジェクトを推進します。
- ・ボランティアフェスティバル（ファイナルフェス）を開催しボランティアの活躍の場を提供します。
- ・フードドライブを地域まちづくりセンターなどで巡回開催し、フードバンク事業を推進します。
- ・児童育成クラブや福祉施設・事業所等への応援「まごころ便」活動を継続します。

### ③ コロナ禍での身近な居場所づくりの推進

- ・地域サロン活動を支援するため、自宅のできる手作り講座などを開催します。
- ・多世代が交流できる居場所づくり事業を支援します。

### ④ 個別支援

- ・経済的困窮者に寄り添った相談に努め、人とくらしのサポートセンターなどの関係機関との連携も強化し、生活福祉資金や市社協の生活つなぎ資金の貸付などによる支援に努めます。
- ・関係機関と連携を強化し地域福祉権利擁護事業利用者の課題にチームとして取り組みます。

## (1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動をめざして広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙「社協くさつ」発行	市社協事業をはじめ、ボランティア活動や地域の福祉活動に着目した市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、市内の全世帯と賛助会員に配布することで、福祉の風土づくりを進めます。 また、コロナ禍での地域の活動・市社協事業を広く周知できるよう努めます。	2,827 77 (収入) 135	会費 共募 広告料
市社協ホームページ運営	地域福祉活動について随時情報を発信し、より多くの方々に地域福祉活動に関心をもってもらえるよう、身近で見やすく、記事にたどり着きやすいようにホームページをリニューアルします。 また、トピックスを活用し、ボランティアや地域の福祉活動の様子や行事予定など、より多くの参加と応援につながるような情報を提供します。	292	会費
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者、福祉活動を推進している学校等の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のためご寄附いただいた個人や団体に感謝の意を表します。	273	会費
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民の皆様とともに地域福祉活動の大切さを語りあいます。コロナ禍だからこそできる講座内容を検討し、より市民が「聞きたい」と思えるような、市社協ならではの楽しい講座の周知啓発に努めます。	8	会費
市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発	地域の各イベントへの着ぐるみ「ふくちゃん」の貸し出しを行い、市社協の啓発につなげます。また、窓口にふくちゃんグッズの販売コーナーをつくり、さらなる認知度アップを目指します。	14	会費
「広報くさつ」点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、毎月「広報くさつ」の点字版を作成し、希望される人に配付します。	357	市受託
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校が協働して運動を展開します。	125	市受託

## (2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎となる人づくり、またその人を支援する体制をつくります。

(単位：千円)

事業・項目	内 容	予 算	財 源
草津市福祉教養大学の開催 (市民コーディネーター育成)	昨年度に引き続き、「心に訴え、誰もが聞いてみたい斬新なテーマ」の講座として今まで福祉に興味がなかった市民に参加いただけるように、幅広い分野の講師に講演いただき、地域の担い手不足と言われている現状を打破するべく、地域福祉活動者のすそ野を広げることを目的に、「福祉教養大学」を実施します。 卒業生を対象とした大学院を引き続き設立し、二部制にして大学院生の募集枠を変更します。大学院生に実践課題を草津市社会福祉協議会から提案し、丁寧に大学院生に伴走することで、地域活動のイメージを持ってもらい、今後活躍の場へ草津市を愛する人材を送り届けます。	642 (収入) 100	市補助 受講料
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を用いて、学区社協との協働による学習会等を開催し、福祉委員活動が活発に行われるよう支援します。また、希望する学区に福祉委員委嘱状を交付し、円滑に活動できるよう支援します。さらに、福祉委員の交流会を実施し、福祉委員同士の学区を越えた交流を図り、活動に対する意見交換をすることで今後の活動につなげてもらえるよう支援をします。	115	会費
介護予防サポーターポイント制度事業	元気な高齢者の社会参加といきがいづくりについて、市と連携しながら支援していきます。	2,939	市受託
地域サロン活動支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、地域サロン活動費を助成します。地域サロン活動の担い手の育成や、様々な相談に応じる地域サロン支援員を配置し、出前サロンの開催や地域サロンへの訪問活動などを通して様々な相談支援を行い、地域サロン活動の拡充をめざします。	10,511	市補助
地域サロン交流会	地域サロンの横のつながりをつくるため、意見交換や情報交換を行い、地域サロン活動のさらなる活性化につなげます。	130 40	市補助 ボラ基金
地域サロン応援	コロナ禍のなか、新しい生活様式で「つながり」を切らないように地域サロン活動に活用できる物品などをお渡しする「まごころ便」を実施し地域サロン活動を後押しするとともに、「まごころ便」に賛同いただける企業を募り、企業と地域活動をされる団体	196	市補助

	や福祉施設とのつながりづくりを推進していくための応援・支援を図ります。		
地域支え合い運送支援	学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者のボランティア送迎を支援し、住民が主体的に取り組む支え合い活動が広がるよう車輛の無償貸与等の支援をしていきます。 実施学区の志津南学区、老上学区・老上西学区、南笠東学区、山田学区の活動が継続していくよう、安全運転講習会等の開催などによりサポートします。	749	市補助
福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出するとともに送迎ボランティアの必要な方には受給調整を行います。送迎ボランティアに安全講習を行い、安全運転の周知に努めます。 また、より多くの方に利用していただき、福祉車両の有効活用を図るため、令和3年4月1日より貸出対象者の要件であった所得制限をはずすとともに、利用者の方に燃料費相当の利用料をいただくこととし、福祉車両貸出事業の要綱の改正を行いました。 さらに、「社協くさつ」や関係団体・福祉関係者に事業を案内し、利用者拡大および送迎ボランティアの拡大に努めます。	1,430 【拡】(収入) 45	会費 利用料
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や昼間独居高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防ぎます。また、傾聴ボランティアの育成を図るため、傾聴ボランティア養成講座を実施します。	141	善銀
草津フードバンクセンター設置	生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、フードバンク協力ボランティアとともに食品のニーズを正確に把握し、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。 また、企業や個人にとっては、本事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという積極的な広報活動を展開し、市民の協力を得られるようにしながら善意の循環システムを構築します。 さらに、出張フードドライブを拡大し、市民により身近なところでの周知啓発、事業協力を呼びかけます。	74 74	市補助 善銀
寝たきり・認知症予防助成	市老人クラブ連合会が実施する介護予防事業を支援します。	72	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換を支援します。	38	共募

知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援します。	40	共募
視覚障害児者支援	草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行います。	6	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する外出歩行訓練や交流会事業等を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する「いきいきふれあい大運動会」事業を支援します。	38	共募
子ども福祉活動助成	子どもの福祉活動を支援します。	50	共募
歳末子ども支援事業助成	年末年始時期に子ども等を対象にした事業を行う学区社協等に対して、支援金の助成を行います。	150	共募
福祉機器リサイクル（貸出事業）	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、市内および近隣市に住む一時的に車いす等を必要とする人に原則3カ月を限度に貸出します。	149	市受託

### (3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくりまします。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアフェスティバル	10回目のボランティアフェスティバルはファイナルとし、過去にボランティアフェスティバルに関わっていただいた方をお呼びし、ボランティアフェスティバル交流会を実施します。今まで関わってくださった方に、お礼をお届けし、今後も社協を応援してもらえるよう、つながりを絶やさないように努めます。	157 158	市補助 ボラ基金
災害ボランティアセンター	災害ボランティアセンター運営協議会構成団体との連携を深め、有時における効果的なボランティア活動を推進できるよう運営訓練を実施し災害対応力の向上に努めます。 また、三者協定に基づき、草津青年会議所の積極的な参画により、機能強化および訓練内容の充実を図るとともに、それぞれのネットワークを活かし、センターの取り組みの周知・啓発を行います。 さらに災害ボランティアセンター応援サポーターを募集し、草津青年会議所と協働で養成研修を実施することで、災害ボランティアセンター運営の協力者を増やしていきます。	76 76	市補助 ボラ基金



収集ボランティア啓発	全国的な福祉活動支援のため身近なボランティア活動である収集ボランティアを推進します。地域や学校等へ啓発パネルを貸出し、周知・啓発を行います。 (使用済み切手・ペットボトルキャップ・プルトップの収集など)	41	ボラ基金
ボランティア養成講座	ボランティア養成講座を開催することで、ボランティアに興味をもってもらうことやボランティアの育成に努めます。傾聴ボランティア養成講座の開催。	11	ボラ基金
ふくちゃんマスクプロジェクト【新】	コロナ禍で失われた「つながり・であい・ふれあい」をこの「ふくちゃんマスク」プロジェクトで取り戻していきます。 令和2年度に、草津市社協はコロナ禍でもできるボランティア活動として「ふくちゃんマスク」プロジェクトを立ち上げ、マスクやクリアファイルでマスクケースの作成をボランティア団体や関係団体に声掛けをし、進めてきたところです。 令和3年度は、引き続き、ボランティア活動者の拡大や活性化、活躍の場を広げるプロジェクトとして推進し、応援したいという方には寄附金という形でこの事業に関わってもらえるようにマスク1枚200円、マスクケース1枚100円で販売し、活動支援をしていただくよう推進します。	298 (収入) 298	ボラ基金
福祉教育の推進	福祉教育の推進として、令和2年度に作成した「福祉教育のてびき」を活用し、子どもたちの福祉に対する考え方や豊かな心の育ちにつながるよう支援します。また、子どもたちの福祉への理解をすすめる、学びを支援するために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行い、より充実した学習につながるような支援を実施します。	19	ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア・地域サロングループリスト、出前ボランティア一覧を作成し、ボランティア団体の紹介と活動場所の拡大、地域サロンへの参加者増による活動の活性化を図ります。	36	ボラ基金
市ボランティア連絡協議会助成	ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募
ボランティア連協加入促進	ボランティア連絡協議会の加入を促進するため、ボランティア活動保険料の一部を助成します。	70	ボラ基金

ボランティアグループ活動助成	ボランティア活動の充実を図るため、ボランティアセンターに登録されたボランティアグループに活動助成を行います。 1団体5,000円	250 350	市補助 ボラ基金
草津市ボランティアセンター施設利用補助【新】	事務所移転により、会議室使用料の生じるボランティアグループに使用料の一部を助成し、活動を支援します。	250	ボラ基金

#### (4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- ①学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
- ②小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携
- ③ボランティアセンターの機能強化

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や研修会等を実施し、福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、年2回学区社協事務局長会議を開催し、学区社協事務局の支援体制の強化の支援を図ります。 また、各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、ホームページにも掲載し、多くの方々に学区社協活動を啓発します。さらに、民間助成金情報を案内し、助成申請をされる学区社協には申請書作成協力の助言等を行い、学区社協活動の活性化を支援します。	558	会費
地域福祉活動助成	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。 ○学区社協運営補助金：260,000円/学区 ○コロナでつながりを広げる補助金：65,000円/学区（申請制） ・コロナに負けるな学区社協応援補助金：35,000円/学区 ・コロナ禍でも立ち上がろうボランティア活動グループ応援補助金：30,000円/学区	3,640 910 1,606	共募 ボラ基金 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区担当制を敷き、学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。また、研修会等を通し、職員の地域福祉コーディネーターとしての資質の向上に努めます。	43,797 750	市補助 自主

地域福祉活動推進の支援強化	草津市地域福祉活動計画策定委員会を開催し、第4次草津市地域福祉活動計画（R4年度からR8年度）の活動を作成し、今後の地域福祉活動の推進を図ります。この中で、学区社協と懇談会を実施し、学区の特徴や声をとらえつつ、今後の草津市での地域福祉の推進のあり方・市社協のさらなる事業展開等を検討していきます。 また、福祉施設や、地域活動をされている団体・子ども食堂の活動を応援するため、活動に活用できる物品をお渡しする「まごころ便」を実施し、地域活動を後押しするとともに、「まごころ便」に賛同いただける企業を募り、企業と地域活動をされる団体や福祉施設とのつながりづくりを行っていきます。	700 700	会費 市補助
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。 さらに、学区担当制による情報提供やアドバイスを行うなど、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員・児童委員活動を支援・協力します。	別途	別途
歳末たすけあい見舞金の配布	市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配付します。また、施設に入所や通所されている障害者に歳末時期に安心して暮らしてもらうため、障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。	6,195	共募
緊急食糧支援事業	一時的に支援が必要な世帯に緊急的な支援として食糧を支給します。	90	共募
ボランティアセンターの運営と機能強化	ボランティア活動者拡大のため、ボランティアを始めたい時にどこに行けばよいか等が分かるようなボランティアセンター周知チラシを作成します。 また、ボランティアの周知・啓発を行うとともに、趣味や特技がボランティアにつながるきっかけづくりを進め、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる仕組みをつくり、ボランティア活動における大切なポイントを丁寧に説明し、活動への参加・継続を支援します。	685	ボラ基金

## (5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めます。特に、増加している困難ケースに対し、専門機関との密な連携・支援体制の整備を図り、より一層きめ細かな支援ができるよう努めます。 また、事業の周知啓発に努めるとともに、生活支援員のスキルアップのため、市社協での研修会の実施や、県社協実施の研修の受講案内を行います。	914 851 3,310 【拡】(収入) 384	会費 市補助 県補助 利用料
心配ごと相談所開設と相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近な暮らしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。さらに相談員同士の情報交換を目的とした連絡会を開催します。コロナ感染症の拡大状況に応じてですが、研修会も実施予定です。	893 830	会費 市補助
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	1,630	善銀
生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。 また、民生委員・児童委員が実施する生活福祉資金貸付者に対する償還指導についても支援していきます。	3,304	県受託
生活支援体制整備事業 (地域支えあい推進員による学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。 特に事業推進の核である「医療福祉を考える会議」について、市内全学区で取り組めるよう、行政・地域包括支援センターと密に連携し、実施学区への継続支援および未実施学区への立ち上げ支援を行います。	20,737	市受託

各種事業推進に係る関係機関との連携強化	貸付事業利用者や地域福祉権利擁護事業利用者等、暮らしに様々な困りごとを抱えた人たちを継続的に支援していくため、市くらしのサポートセンターや地域包括支援センター等の支援機関との連携強化を図ります。	-	-
第三者委員会の設置	市社協が実施する事業の信頼性の確保及び適正な事業実施を図るため、苦情解決の第三者委員会を設置します。	1	自主
理事会・評議員会の開催ならびに研修会の開催	理事会・評議員会を開催し、役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。	958	自主
職員研修、職員会議の開催	人権意識の向上や地域福祉コーディネート力のスキルアップを目的に研修を実施します。また、事業の進捗状況を毎月確認しつつ草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくるほか、権利擁護事業や貸付事業の担当者会議を開催するなど、職員同士の連携を図ります。	100	自主
関連団体と役員研修	<p>滋賀の地域福祉活動の推進と情報交換や役職員の研修の場として積極的に参加します。また、新たに滋賀県社協の縁特別会員に加入し、多世代交流の促進や情報共有、または地域への情報発信を行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県社会福祉協議会会費 (937,000円)</li> <li>・滋賀県市町社会福祉協議会会長会費 (63,000円)</li> <li>・湖南地域社会福祉連絡協議会会費 (20,000円)</li> <li>・滋賀県社協縁特別会員会費 (50,000円)</li> </ul> <p style="text-align: right;">他</p>	1,200	自主
共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。	別途 (市共同募金委員会)	別途 (市共同募金委員会)
赤十字事業の推進（日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局）	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。	別途	別途
社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供します。	(収入) 80	自主

市社協会費の拡大	福祉でまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取り組みをすすめます。 ○一般会費 … 学区社協と連携し、世帯を単位にした社協への参画を促進します。 ○賛助会費 … 学区社協と連携し、企業を単位にした社協への参画を促進します。なお、賛助会費の内 55%を学区社協へ助成します。	(収入) 一般会費 4,472 賛助会費 2,985	会費
善意銀行事業	生活つなぎ資金の貸付、高齢者への電話訪問事業、子どもの居場所づくり等地域福祉活動への支援を行うフードバンクセンター事業等の善意銀行事業について、広報紙やホームページだけでなく地域の事業に出向く際にも啓発を行い、地域福祉活動を応援する財源として市民の善意の寄附金を積極的に募集するとともに有効に活用します。	673	善銀
ボランティア基金の運用、寄附金の募集	ボランティアセンターの運営ならびに多様なボランティアや地域福祉活動の振興に努めるための寄附金の募集に努めます。賛助会員にも、寄附の案内を社協くさつ送付の際に同封するとともに、基金を有効に運用し、財源の確保に努めます。	1,733 (収入) 982	会費 ボラ基金
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	広報紙「社協くさつ」およびホームページのバナー広告掲載の積極的な募集を行い、財源確保に努めます。	(収入) 190	自主
寄附付き名刺の発行	寄附金の増収および地域住民が気軽に参加・協力できる地域福祉の推進を図るため、売り上げの一部を当会の寄附となる「寄附付き名刺」を障害者事業所NPO法人アイ・コラボレーションと協働で発行します。	(収入) 3	自主
ふくちゃんグッズの販売	ふくちゃんグッズを市社協事務所や地域の行事等で販売し、グッズを通しての市社協の啓発および財源の確保に努めます。 ○グッズ・・・ファイル、かばん、ふろしき	(収入) 30	自主

(6) 第3次草津市地域福祉活動計画の体系図

